

編集後記

年が明けて、本誌も38年目を迎えました。昨年の編集会議で、今年から臨床例の英文抄録を掲載することを決め、先月号から掲載が始まりました。主な目的は、本誌のオンラインジャーナル化に向けての対応です。学会誌、学術誌に限らず、昨今の出版業界は、紙ではなくネット上に置かれた文書を読者に提供することが多くなっています。本誌も遅ればせながらオンラインジャーナルへの準備を行っていて、文科省が所轄するJ-STAGEへの公開を画策しています。実は、小生が広報を担当している日臨皮の会誌も2007年からJ-STAGEで公開しているのですが、原著については英文抄録を添えてあります。月に1回、機構からアクセス統計データの提供があり、それを見ると日本以外にもさまざまな国からのアクセスがあり、熱心な研究者は世界中にいるのだと驚かされます。本誌の臨床例は、みな素晴らしい症例ばかりですので、抄録だけでも全世界に公開できれば、世界中の皮膚科医の役に立つのではないかと思います。著者には少々ご負担をかけることにはなりますが、本誌の発展のためにも、また、皮膚科学に取り組んでいる世界中の医師、研究者のためにも、是非ご協力をお願いしたいと思います。

さて、本号では物理化学障害をとりあげました。この分野のオピニオンリーダーである尹 浩信先生と立花隆夫先生に、創傷・熱傷ガイドラインの本音のお話を伺うことができ、大いに読者の参考になると思います。今後もこういった企画を適宜取り入れていこうと考えていますので、ご期待ください。(T.A.)

次号予告

Vol.38, No.3

特集 播種状の皮膚病

◆editorial

浅井 俊弥

◆topics

ウイルス性発疹症と薬疹の見分け方～可能か？～

日野 治子

薬師寺直喜

日本紅斑熱

◆臨床例

化学療法中に発症したヒトパルボウイルスB19感染症

伊藤 満ほか

高熱と大型の水疱形成がみられた急性痘瘡状苔癬状皰癬疹

宇津宮まりかほか

高齢者に発症したテルピナフィンによる急性汎発性発疹性膿疱症

加倉井真樹, 出光 俊郎

膿疱性乾癬の患者に発症した、アモキシシリンによる急性汎発性

発疹性膿疱症と考えられた例

加藤 香澄ほか

顔面に多発した発疹性毳毛嚢腫

金子 由佳ほか

メトトレキサートが著効した毛孔性紅色皰癬疹

佐藤 俊宏ほか

汎発性光沢苔癬の2例

山口 加奈ほか

ツツガムシ病

松本 優香ほか

抗リン脂質抗体症候群を合併した抗SS-A抗体陽性の皮膚形質細

胞増多症

須磨 朱里ほか

新生児中毒性紅斑膿疱型の2例

清水 理恵ほか

ダーモスコピーが診断に有用であったeruptive syringoma

渡口 美帆ほか

海外で感染したデング熱

野柳 俊明, 江下 優樹

高齢者水痘の2例

立花 隆夫ほか

バルサルタンによる薬疹として発症した丘疹-紅皮症

長野 結衣ほか

成人女性の顔面に生じた多発性伝染性軟属腫

三井 広ほか

皮膚T細胞リンパ腫との鑑別を要し、NB-UVB治療が奏効した慢

性苔癬状皰癬疹

游 理恵ほか

◆New Drugs

デュアック®配合ゲル

◆皮心伝心

名嘉真武国

◆蝶の博物詩

西山 茂夫

◆診察室の四季

斉藤 隆三

◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

皮膚病診療 Vol. 38, No.2(2016)

平成28年1月26日印刷

平成28年2月1日発行

1部定価2,400円(本体)+税 送料82円

年ぎめ予約購読料35,800円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 小西 庸一

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5

日土地虎ノ門ビル3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2016年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。